

第1回おいらせ町自然・地域と再生可能エネルギー検討委員会における各課からの意見について

【産業課】

◎間木堤の堤体かさ上げ事業に係る計画について

今回の工事は、200年に一度の大雨が降ったときに、間木堤の堤体の余裕高が不足しており、越流する恐れがあるとのことから堤体のかさ上げを行い、余裕高を確保するという工事になります。余裕高 0.79m→1.14m今年度、県にて詳細設計・実施設計を行いますので、もっと詳細な計画が示されるかもしれません。太陽光施設の影響により間木堤への流入量が増える場合には、さらに堤体をかさ上げしなければならないかもしれません。（※別添参照）

調整池等の設計については、林地開発許可申請にあたっての青森県担当課との調整を経て固めてまいりますので、かかる調整にあたって留意するようにいたします。

【まちづくり防災課】

◎当該計画地から間木堤上流部の水路へ排水する計画について

当該水路は明神川水系であり、24時間総雨量 529mmで浸水想定が計算されている。今回の排水計画で現在の浸水想定に影響がないかどうか確認したいです。

同上

【地域整備課】

◎計画地内の排水対策

基本的に敷地内処理により、外部への流出量を洪水時の約 1/10 以下とし、場合によっては改良区水路・明神川水系水路等への排水を検討することですが、敷地内処理は浸透枳のほか調整池のようなものは設けるのかなど、もう少し具体的な計画を提示願いたい。なお、当該排水は最終的には改良区水路も含め明神川水系となるので、雨量が多いと下流域の洪水が発生しているので、直放流しないような計画が望ましい。

調整池等の設計については、林地開発許可申請にあたっての青森県担当課との調整を経て方針を固めてまいります。

◎近接する下田公園(キャンプ場)への影響を考慮した管理道路の接続

計画敷地は2筆程度離れており直接は下田公園に接しないようであるが、以前口頭でお話する中で、双方の危機管理体制のなかで、山林伐採による計画地、計画外隣地、下田公園内の倒木の危険性が高まることが推測される。また、山林以外の施設があることで、火災をはじめとした災害発生時には、双方施設の緊急避難連絡路等にもなり得るので、可能であれば、前向きに検討いただきたい。

今後詳細を伺ったうえで、協議ならびに検討させていただければ幸いです。

【税務課】

◎固定資産税(償却資産分)について

「設備投資額20億円台半ば以上で初年度税額38百万円」、「運転期間30年程度で3.6億円程度の納税額」と記されているが、具体的な税額計算の根拠をお知らせいただきたい。当方の計算と少なからず差異があるためご教示いただきたい。

1.4%の税率、太陽光発電設備について17年、自営線について22年の耐用年数を想定しております。別添資料をご参照ください。工事費についても見積り初期段階となりますので、今後、変動が見込まれること、工事費についてはあくまでも現状の想定額に留まるという点についてはご理解いただけますと幸いです。

◎これまでの事例等から

太陽光発電事業においては、開発が完了して事業(売電等)が実施されると、管理運営を担う事業者が変わるなどして、それまでの約束事(補助事業の採択要件となっている目標到達のための取り組みを含めた管理や運営事項等)が反故にされるケースが散見される(納税についても同様)。そのあたりを担保できるような方法を考える必要がある。

協定書を締結することに支障ございませんし、締結後は遵守してまいります。万が一譲渡が行われる場合等に備え、協定書の承継を義務付ける規定を含めることも可能です。実効性を担保する仕組みについては、協定の具体的な内容によっても適切な方法が変わってくるものと存じますので、ご要望に応じて協議させていただきたく存じます。

【町民課】

◎事業者が変更となっても協定が担保されるようにする必要がある。

協定書を締結することに支障ございませんし、また、締結後は遵守してまいります。万が一譲渡が行われる場合に備え、協定書に協定書の承継を義務付ける規定を含めることも可能

です。

【その他】

◎太陽光発電事業においては、開発が完了して事業(売電等)が実施されると、管理運営を担う事業者が変わるなどして、それまでの約束事(補助事業の採択要件となっている目標到達のための取り組みを含めた管理や運営事項等)が反故にされるケースが散見される(納税についても同様)。そのあたりを担保できるよう方法を考える必要がある。

同上